

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『税金と税金を知った私の気持ち』

町田市立小山田中学校 3学年 藤嶋 百合乃

夏休みの宿題として税の作文用紙が配られた時、税のことが多く書かれているプリントも配られました。正直最初は、「税金なんて大人の話。」「今の自分には関係ない。」と思っあまり興味が湧かなかったのですが プリントを読んだり、調べたりしてみるとずっ自分たちの生活に関係があることを知り驚きました。

まず、税金とはざっくりまとめると国民の暮らしを支えている物です。私達が納めたお金は国民の「健康で豊かな世界」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となるのです。税金には使い道が沢山あります。それは国と東京によって一年間の支出、すなわち歳出の内訳ももちろん違います。

最初に教育に使われる税金についてです。国の歳出は小中学校のための教育費、大学・私立学校の補助、校舎の建築費などに使われています。東京の歳出は半分が机や椅子、教科書など小中学校を運営するために使われ、もう半分は都立高校や特別支援学校費などに使われます。国と東京で税金で行うことは違いますが、私達が学校に楽しく通えているのも、きちんと授業を受けられているのも税金のおかげだということが分かります。こんなにもお金をかけて作ってくれた場所や物なので大切に使用していきたいなと改めて思います。

次に公共事業に使われる税金についてです。国の歳出は道路を始め、上下水道や公園の整備などの私達が住みやすい環境を実現するために使われています。自分がお風呂に入れているのも、車で楽に移動したり公園で楽しく遊べるのも税金によって沢山の人が頑張っているからです。私の幸せな今の暮らしは沢山の人のによって作られていると思うし感謝の気持ちで胸がいっぱいです。東京の歳出は橋などの耐震化、豪雨対策、東京湾の整備など災害に強い都市や利便性の高い都市の実現に向けて使われています。「いつの間にかこんな物出来たんだ。」と今まであまり気にしなかった物が多いけれど私たちの未来のためにこんなに頑張ってくれていて嬉しいなと思いました。

最後に社会保障に使われる税金についてです。国の歳出は歳出総額の三割という大きな割合を占めています。医療費や介護給付費、年金を支払うために税金は八割と多く使われています。東京の歳出は少子高齢化への対応や子育て支援など、都民の様々な福祉への要望に答えることに使われています。今の私には直接関係がある訳では無いけれど何時しか必ず家族や親として関係してくると思うので沢山考えていきたいなと思いました。

私は税金のことを「なんか取られるお金」だと思っていました。でも、この税金についてのプリントと資料を読んで、作文を書いてみて「私達を支えてくれるお金」だと知ることができました。大人になれば働いてもっと税金と関わります。もっともっと税金について知って理解しておこうと強く思いました。